

第129回横浜市景況・経営動向調査（令和6年6月実施）（特別調査）  
—成長に向けた取組に関する調査—

- ・脱炭素化に取り組んでいる企業は、全産業で51.1%と1年前の調査（39.9%）を上回る
- ・脱炭素化に取り組む上での課題は、全産業で「運用コスト増への対応が難しい」（61.8%）が最も多く、次いで「設備導入費用の捻出が難しい」（60.1%）となった
- ・デジタル化に取り組んでいる企業は、全産業で71.0%と1年前の調査（65.2%）を上回る

【調査のポイント】

○脱炭素化の取組状況について、全産業では「必要性を感じ、すでに取り組んでいる」（51.1%）が最も多く、次いで「取り組む必要があると考えているが、まだ取り組んでいない」（33.8%）、「必要性を感じていない」（12.0%）となった。規模別にみると、「必要性を感じ、すでに取り組んでいる」が大企業（79.5%）、中堅企業（51.0%）、中小企業（49.1%）、うち小規模企業（41.9%）と、すべての規模で最も多くなった。

○脱炭素化に取り組む上での課題は、全産業で「運用コスト増への対応が難しい」（61.8%）が最も多く、次いで「設備導入費用の捻出が難しい」（60.1%）、「取組を推進する人材がいない」（59.2%）となった。

○デジタル化の実施状況について、全産業では「実施している」（71.0%）が最も多く、次いで「実施していないが、関心はある」（22.3%）、「関心がない」（3.5%）となった。規模別にみると、「実施している」が大企業（89.7%）、中堅企業（76.9%）、中小企業（68.5%）、うち小規模企業（60.4%）と、すべての規模で最も多くなった。

【調査対象】市内企業1,000社（回収数：677社、回収率：67.7%）

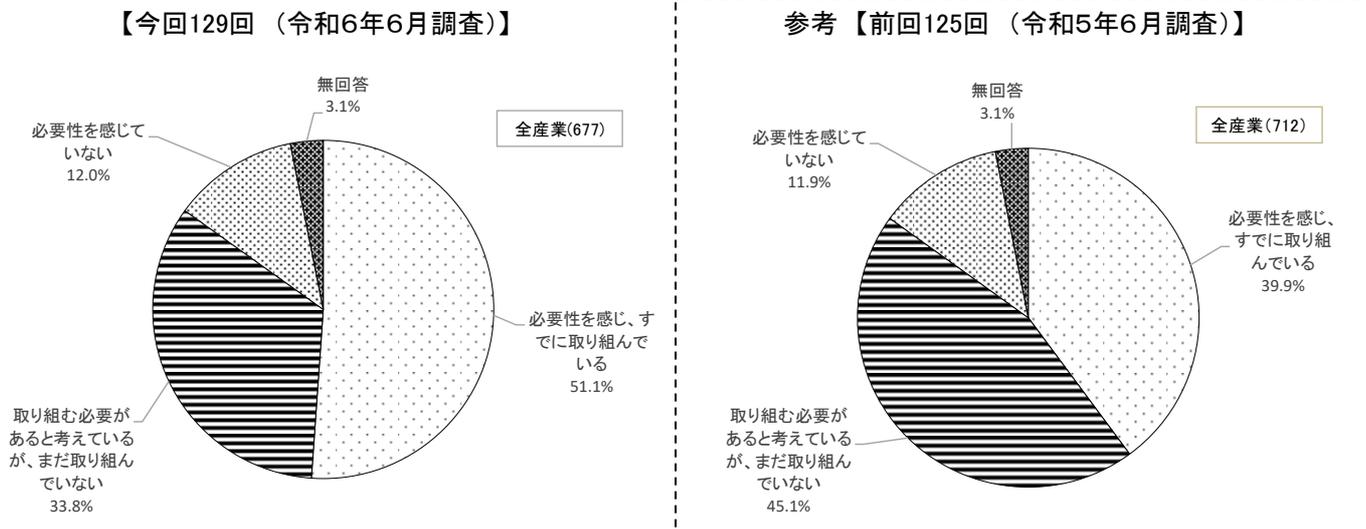
【調査時期】令和6年4月25日～5月21日

特別調査の概要

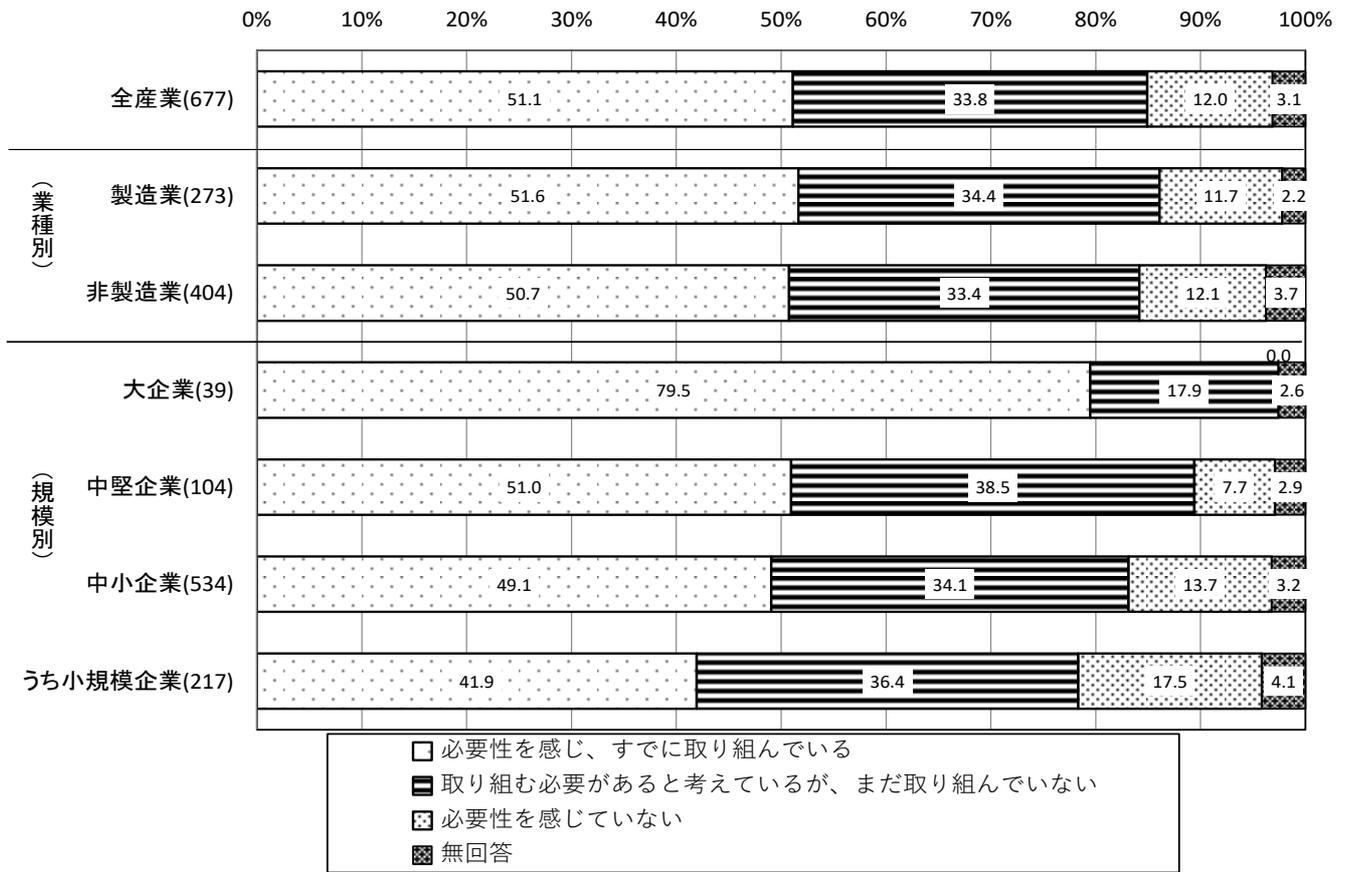
1 脱炭素化の取組状況について

- 脱炭素化の取組状況について、全産業では「必要性を感じ、すでに取り組んでいる」（51.1%）が最も多く、次いで「取り組む必要があると考えているが、まだ取り組んでいない」（33.8%）、「必要性を感じていない」（12.0%）となった。
- 前回調査（125回）と比べると、「必要性を感じ、すでに取り組んでいる」は全産業で51.1%と、前回の39.9%から11.2ポイント増加した一方、「取り組む必要があると考えているが、まだ取り組んでいない」は33.8%と、前回の45.1%から11.3ポイント減少した。

図表1-1 脱炭素化の取組状況について（単一回答）【全産業】



図表1-2 脱炭素化の取組状況について（単一回答）【全産業・業種別・規模別】

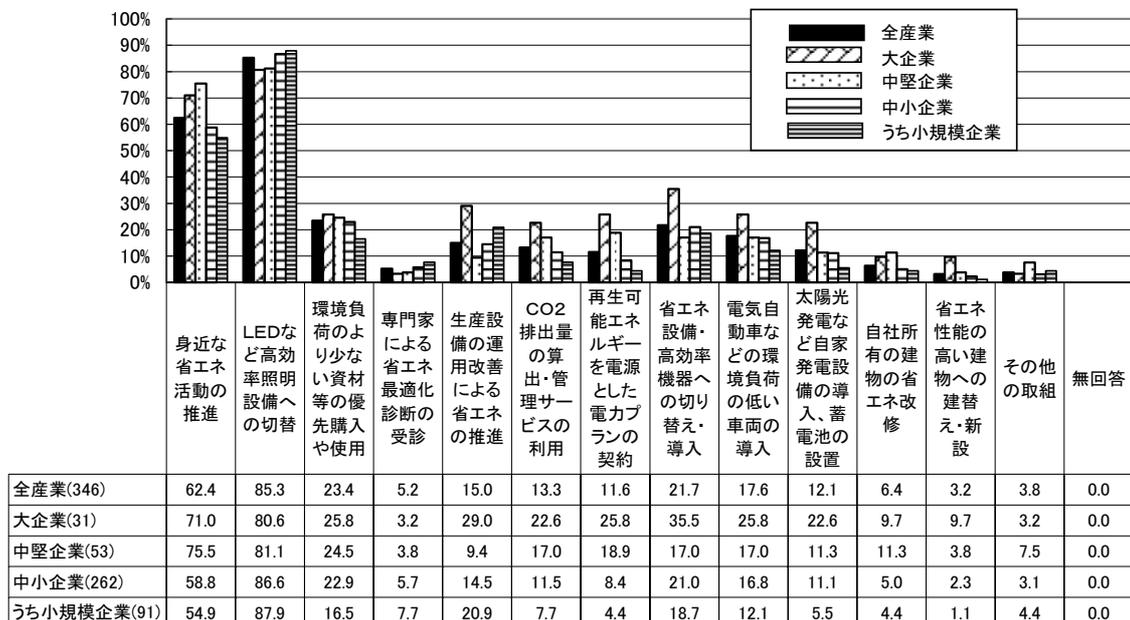


<Q2で「1. 必要性を感じ、すでに取り組んでいる」を選択された場合>

## 2 実施している脱炭素化の取組について

- 実施している脱炭素化の取組について、全産業では「LEDなど高効率照明設備への切替」(85.3%)が最も多く、次いで「身近な省エネ活動の推進」(62.4%)、「環境負荷のより少ない資材等の優先購入や使用」(23.4%)となった。
- 規模別にみると、「LEDなど高効率照明設備への切替」が大企業(80.6%)、中堅企業(81.1%)、中小企業(86.6%)、うち小規模企業(87.9%)で最も多くなった。次いで、「身近な省エネ活動の推進」が大企業(71.0%)、中堅企業(75.5%)、中小企業(58.8%)、うち小規模企業(54.9%)となった。

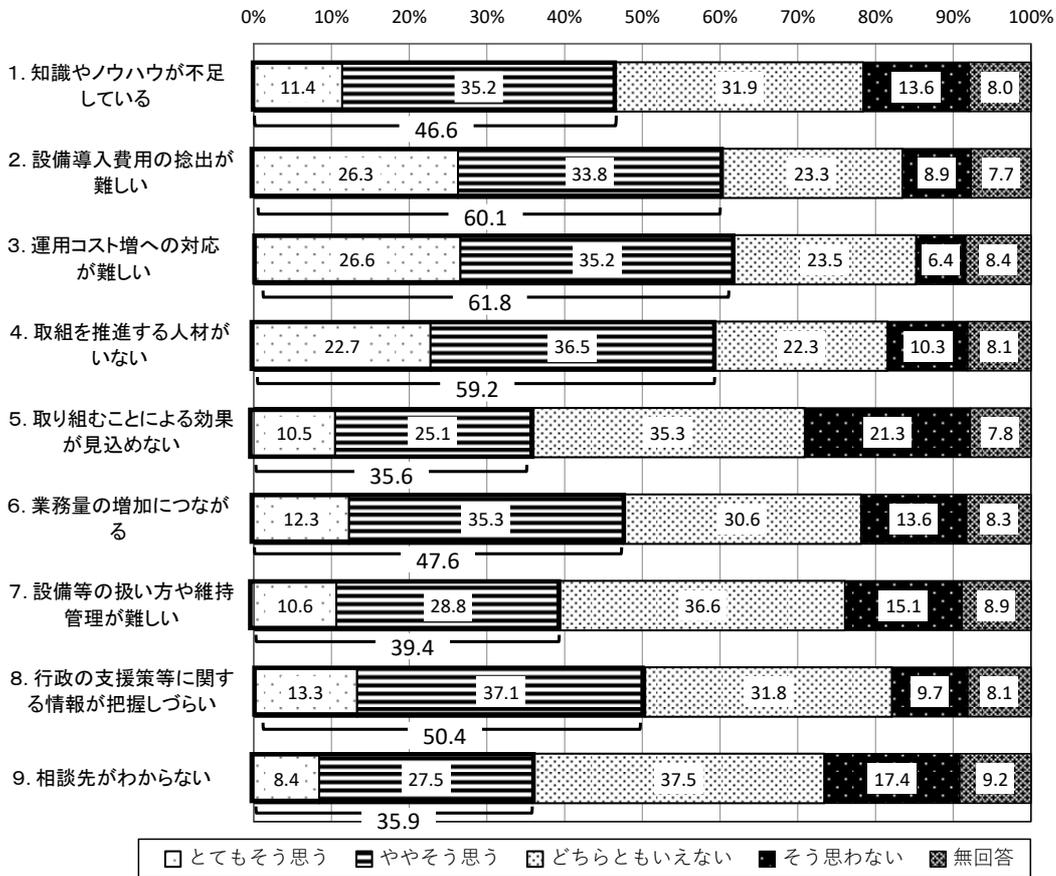
図表2 実施している脱炭素化の取組について（複数回答）【全産業・規模別】



### 3 脱炭素化に取り組む上で、想定される各課題について

○ 脱炭素化に取り組む上で、想定される各課題について、全産業では「運用コスト増への対応が難しい」(61.8%)が最も多く、次いで「設備導入費用の捻出が難しい」(60.1%)、「取組を推進する人材がいない」(59.2%)となった。

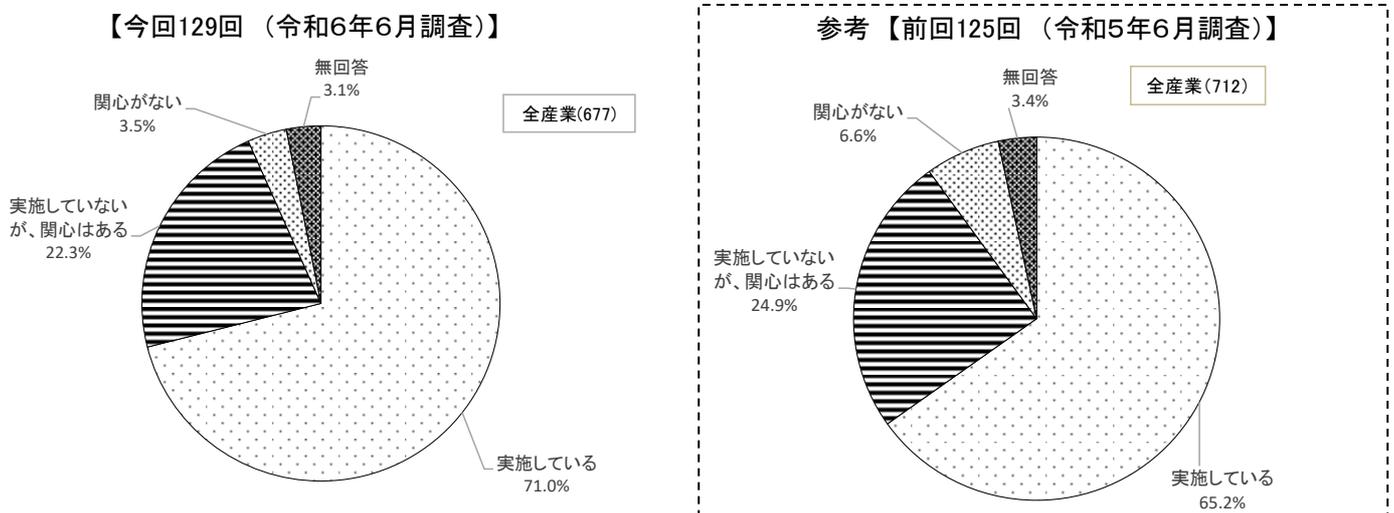
図表3 脱炭素化に取り組む上で、想定される各課題について（各単一回答）【全産業】



### 4 デジタル化の実施状況について

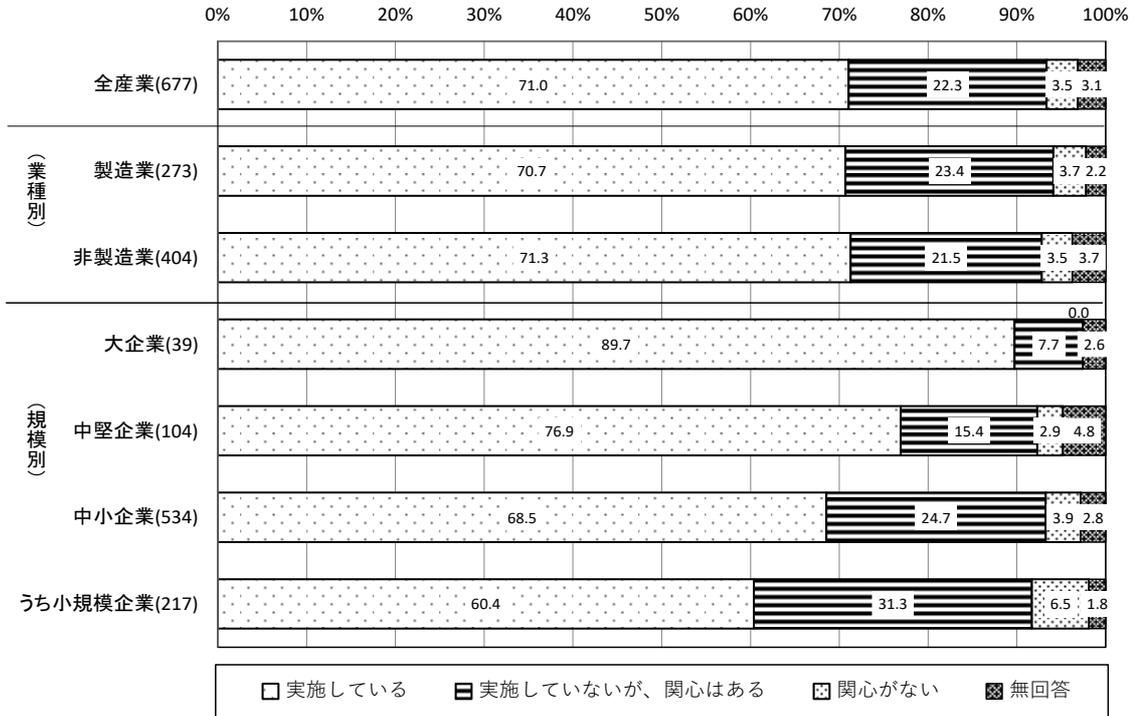
○ デジタル化の実施状況について、全産業では「実施している」(71.0%)が最も多く、次いで「実施していないが、関心はある」(22.3%)、「関心がない」(3.5%)となった。  
 ○ 前回調査(125回)と比べると、「実施している」は全産業で71.0%と、前回の65.2%から5.8ポイント増加した一方、「関心がない」は3.5%と、前回の6.6%から3.1ポイント減少した。

図表4-1 デジタル化の実施状況について（単一回答）【全産業】



裏面あり

図表4-2 デジタル化の実施状況について（単一回答）【全産業・業種別・規模別】

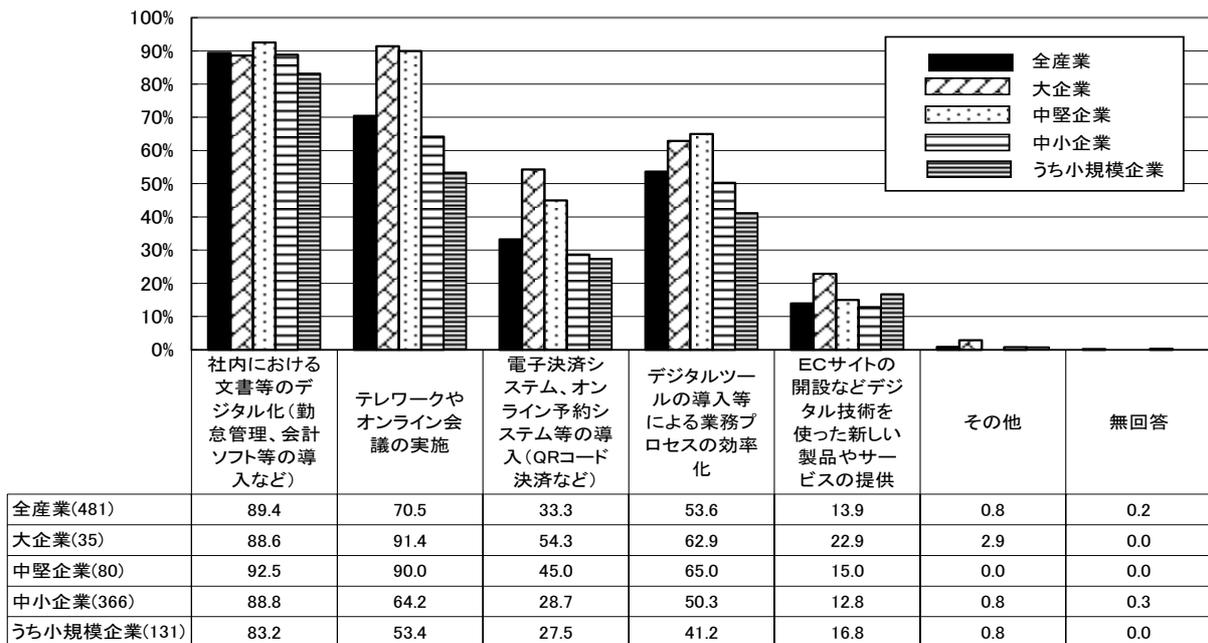


<Q2で「1. 必要性を感じ、すでに取り組んでいる」を選択された場合>

### 5 実施しているデジタル化の取組について

- 実施しているデジタル化の取組について、全産業では「社内における文書等のデジタル化」(89.4%)が最も多く、次いで「テレワークやオンライン会議の実施」(70.5%)、「デジタルツールの導入等による業務プロセスの効率化」(53.6%)となった。
- 規模別にみると、「テレワークやオンライン会議の実施」が大企業(91.4%)で最も多く、「社内における文書等のデジタル化」が中堅企業(92.5%)、中小企業(88.8%)、うち小規模企業(83.2%)で最も多くなった。

図表5 実施しているデジタル化の取組について（複数回答）【全産業・規模別】



報告書掲載 URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/keikyou.html>

お問合せ先  
 経済局総務部企画調整課長 粕谷 美路 Tel 045-671-2565

